

# ワールド・ビジョン・ジャパン 「アドボカシー意識調査」の結果概要

2017年1月  
特定非営利活動法人  
ワールド・ビジョン・ジャパン

## ○調査の目的：

1. アドボカシー活動効果の定量的な測定  
政策決定者（政治家）へのワールド・ビジョン・ジャパン（以下 WVJ）のアドボカシーの影響力・認知度・子どもの保健に関する理解の浸透状況を定量的に定点調査する。
2. 関係構築  
WVJ への理解を深め、今後のアドボカシー活動へのヒントを得る。

## ○調査方法

- 対 象： 衆参全議員のうち調査票送付可能な方  
※全議員 717 人（衆議院 475 人・参議院 242 人）のうち 705 人が対象
- 方 法： 調査票記入による自由回答
- 調査期間： 2016年9月23日～11月11日

## ○調査結果

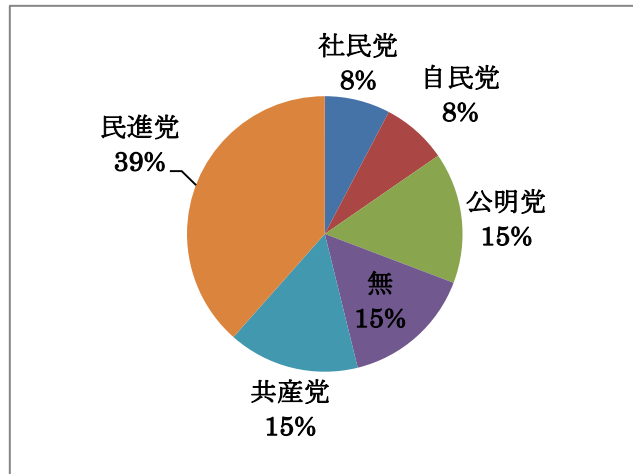
有効回収 13 人（1.84%）

## ○調査項目

1. WVJ の認知度
2. WVJ のアドボカシーの認知度
3. WVJ のアドボカシーの個別活動の認知度
4. WVJ からの政策提言の有無
5. WVJ から政策提言を受けた分野
6. WVJ からの政策提言による影響
7. SDGs の認知度
8. SDGs において日本政府が支援すべき ODA 分野
9. SDGs において日本政府が日本国内で支援すべき分野
10. WVJ との協力関係

○政党別内訳

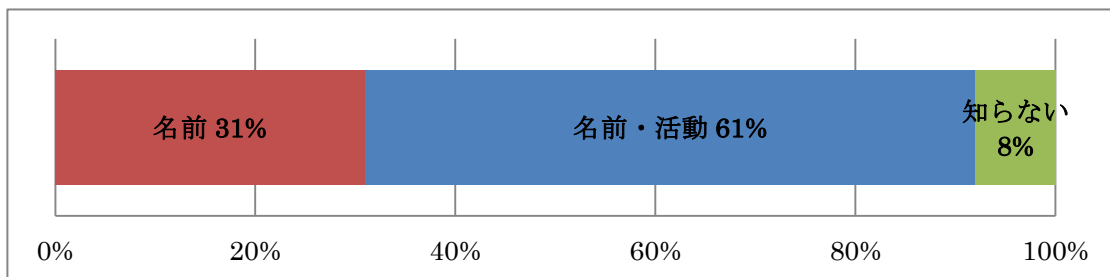
政党名	回答数
民進党	5
自由民主党	1
公明党	2
日本共産党	2
社会民主党	1
無所属	2
諸派	0



質問1. あなたは、途上国の子どもたちを支援している国際NGO「ワールド・ビジョン・ジャパン(以下WVJ)」についてご存知ですか？

- ① 名前だけ知っている 4人 (31.0%)
- ② 名前も活動も知っている 8人 (61.0%)
- ③ 知らない 1人 (8.0%)

【傾向】知っている方が回答者の9割以上を占め、うち半数以上の方が名前も活動も知っていた。知らない方は全回答者の中で1名だった。

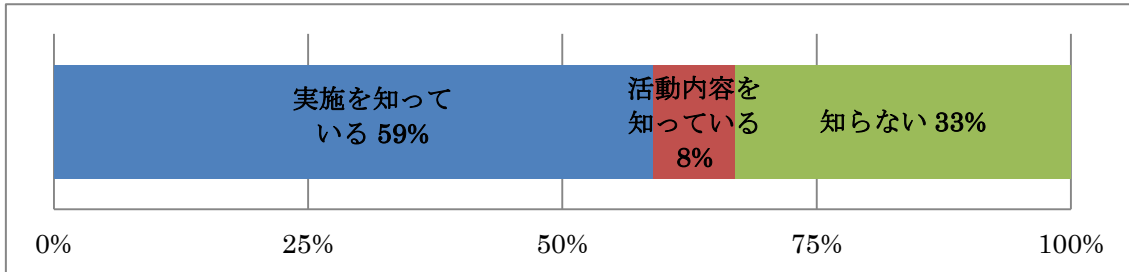


質問2. 質問1に①または②と回答された方のみ：

WVJのアドボカシー(市民社会や政府への働きかけを通じて不公正な社会を変革すること)についてご存知ですか？(複数回答可)

- ① 実施していることを知っている 7人 (59%)
- ② 活動内容を知っている 1人 (8%)
- ③ 知らない 4人 (33%)

【傾向】 WWJを知っている方の6割以上がアドボカシーを実施していることを知っている。  
うち、活動内容を知っている方は1名であった。



質問3. 質問2に①または②と回答された方のみ

WWJが行っているアドボカシーのうち、ご存知なものを教えてください。(複数回答可)

- |  |    |
|--|----|
| ① 「Child Health Nowーアクション！救えるはずの命のために」キャンペーン | 5人 |
| ② 命の木プロジェクト                                  | 0人 |
| ③ 知らない                                       | 4人 |
| ④ その他  | 0人 |

【傾向】 WWJのアドボカシーを知っている方のうち、ほとんどの方は「Child Health Now (CHN)」キャンペーンを知っているが(5名)、「命の木プロジェクト」について知っている方はいなかった。どちらも知らないという方は4名であった。

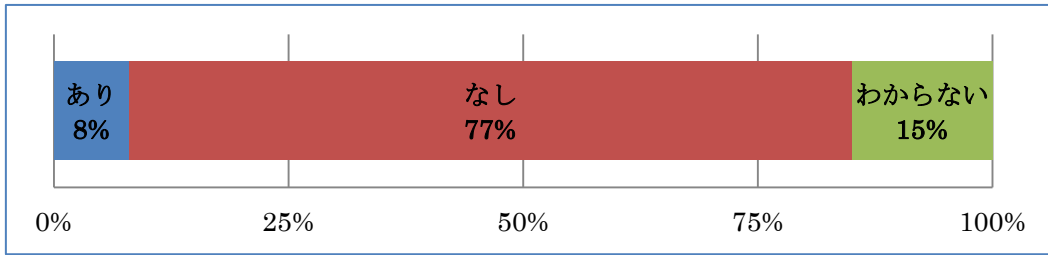
※「命の木プロジェクト」とは、CHNキャンペーンの一環として2012年～2016年にWWJが実施した市民参加型のキャンペーン活動。



質問4. WWJから政策提言を受けたことがありますか。

- |            |     |       |
|------------|-----|-------|
| ① 受けたことがある | 1人  | (8%)  |
| ② 受けたことがない | 10人 | (77%) |
| ③ わからない    | 2人  | (15%) |

【傾向】 回答者の7割以上の方が、政策提言を受けたことがないと回答した。

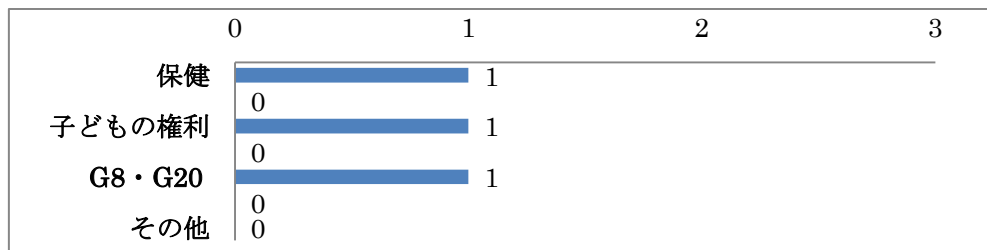


質問5. 質問4に①と回答された方のみ:

WVJからどのような分野における提言を受けましたか。(複数回答可)

① 保健	1人
② 栄養	0人
③ 教育	0人
④ G8・G20 サミット	1人
⑤ 子どもの権利	1人
⑥ 人身取引	0人
⑦ その他	0人

【傾向】 WVJから政策提言を受けたことのある方は1名であり、この方が保健、子どもの権利、G8・G20に関する提言を受けたと回答している。

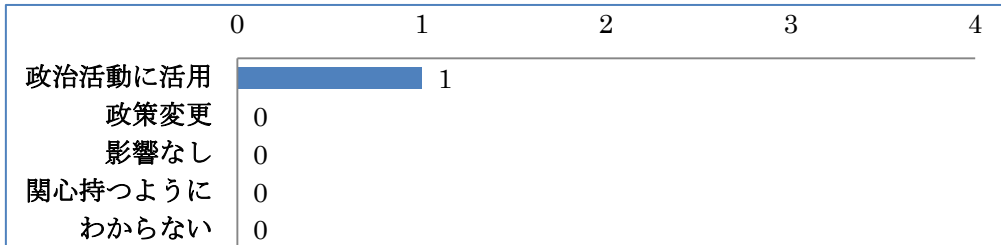


質問6. 質問4に①と回答された方のみ:

WVJの提言により、ご自身の政治活動が影響を受けたことがありますか。

① 提言を受け政策変更に向け政治活動を行った	0人
② 提言を受け自身の政治活動に活かした	1人
③ 提言を受けたテーマに関心を持つようになった	0人
④ 提言を受けたが影響はない	0人
⑤ わからない	0人

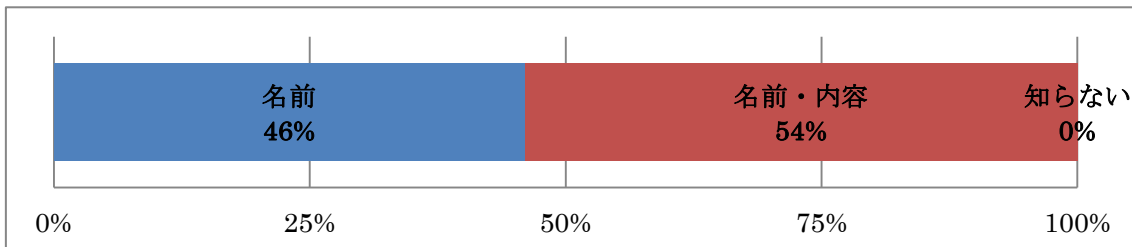
【傾向】 WVJ から政策提言を受けたことがあると回答した方が、自身の政治活動に活かしたと答えている。



質問 7. 本年 9 月の国連総会で採択された国際開発目標「ポスト 2015 開発アジェンダ（持続可能な開発目標（SDGs: Sustainable Development Goals と呼ばれる）」についてご存知ですか？

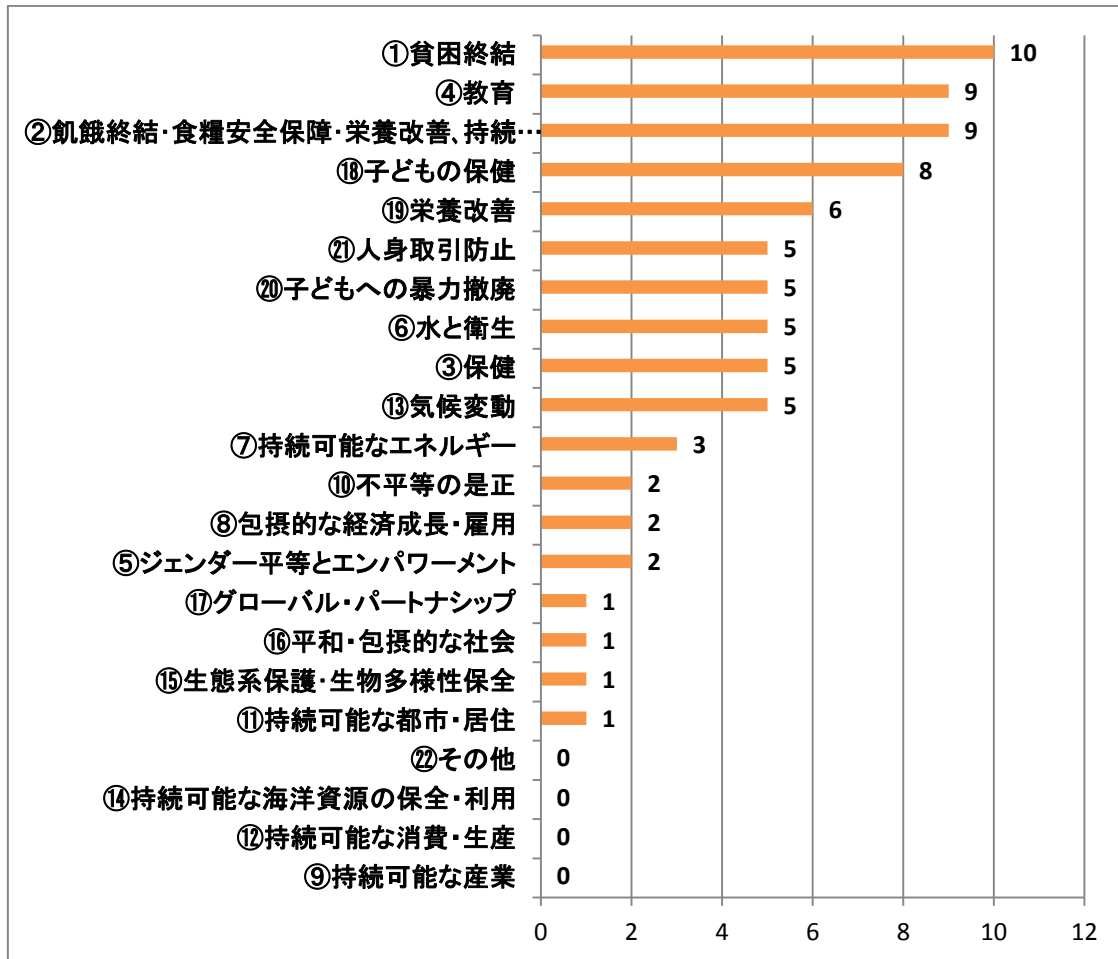
- ① 名前だけ知っている 6 人 (46%)
- ② 名前も内容も知っている 7 人 (54%)
- ③ 知らない 0 人 (0%)

【傾向】 アンケートに回答した方全員が SDGs を知っており（13 名）、うち半数以上が名前だけでなく内容も知っていると回答した。



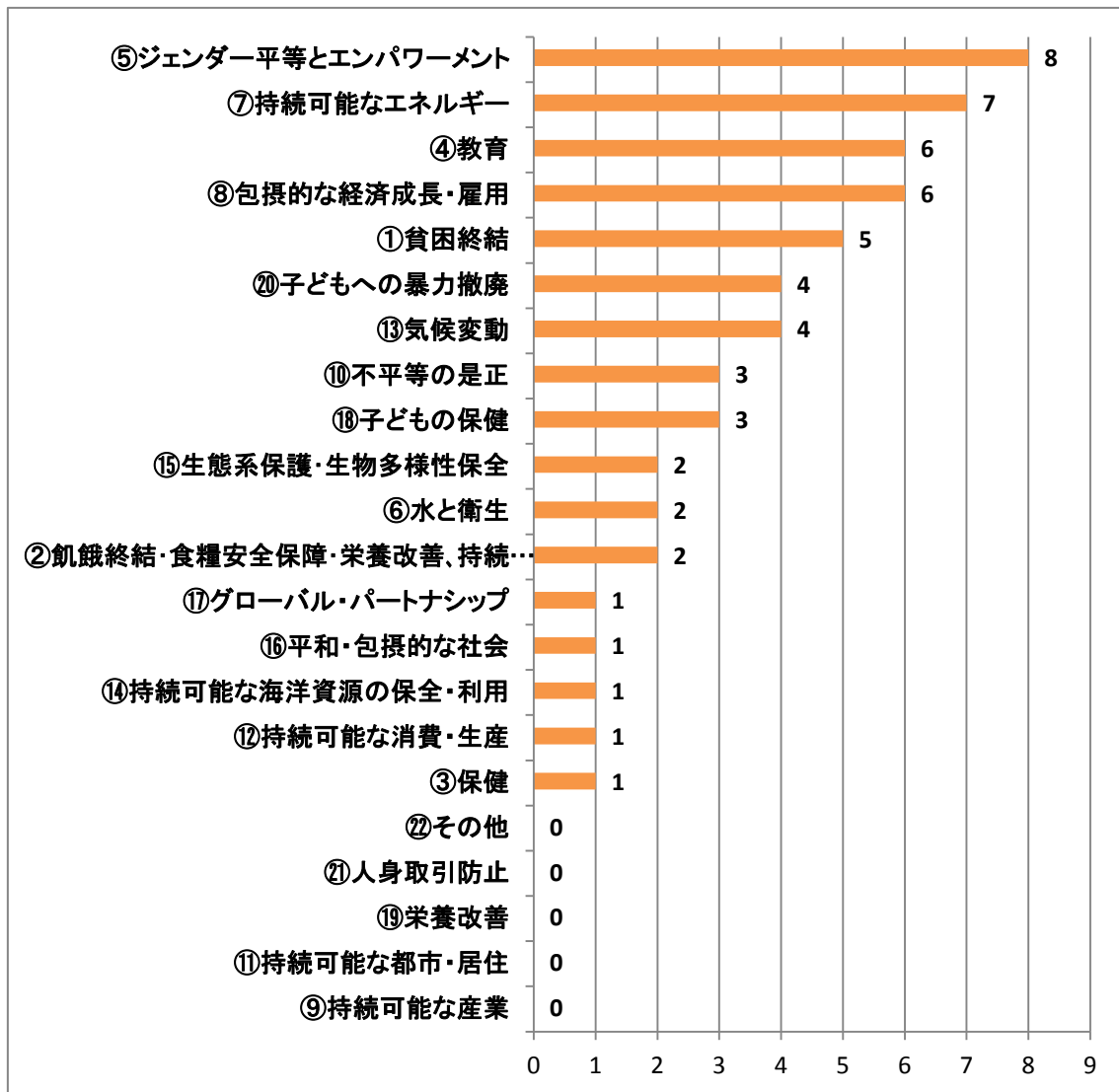
質問 8. 「SDGs」は、ミレニアム開発目標(MDGs)の後継となる国際開発目標で、以下 17 の目標とそれらに付随する 169 ターゲットにより構成されます。SDGs の採択を受け、ODA 政策において、日本政府はどの分野に力を入れるべきと考えますか。（複数回答可）

【傾向】 上位から、貧困終結、教育、飢餓終結・食糧安全保障・栄養改善および持続可能な農業、子どもの保健、栄養改善となった。



質問 9. 「SDGs」は、開発途上国のみならず、先進国も対象となります。SDGsの採択後、日本政府は、日本国内でどのような目標に力を入れていくべきと考えますか。(複数回答可)

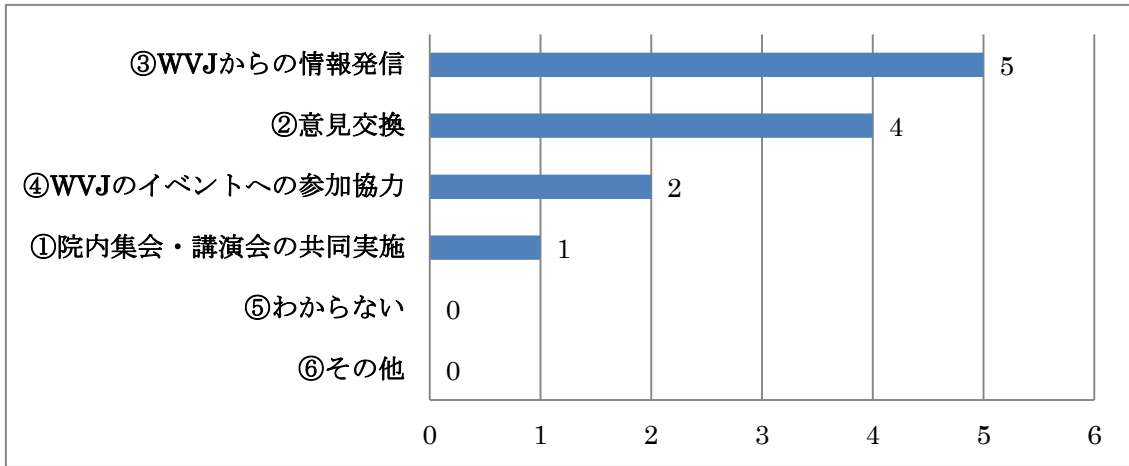
【傾向】 上位から、ジェンダー平等とエンパワーメント、持続可能なエネルギー、教育、包摂的な経済成長・雇用、貧困終結、子どもへの暴力撤廃、気候変動となった。



質問 10. 今後、WVJ との協力を希望されることがあればお知らせ下さい。(複数回答可)

①院内集会・講演会の共同実施	1人
②意見交換	4人
③WVJからの情報発信	5人
④WVJのイベントへの参加協力	2人
⑤わからない	0人
⑥その他	0人

【傾向】WVJからの情報発信を5名、意見交換を4名が希望している。またWVJイベントへの参加協力や、院内集会・講演会の共同実施を希望した方もいる。



以上